



# たぐすい

TAKUSUI

2002 September No.551

9

●ズーム●

『活いか』で活せいかっ?!  
(活性化)

COLUMN

◆ 京都の夏目漱石 ◆

◆夏の京都は暑い。その暑さの中で《祇園祭》の山鉾巡行が熱気をあびる。夏目漱石は江戸っ子だが、京都が好きで京都通(つう)でもあった。生涯のうち四度京都を訪ねている。漱石二十六歳の七月、正岡子規と二人旅をして、駄屋町通りの宿をとった。二人して京貝物をし、円山公園を歩き清水寺へ参詣する。ぜんざい屋の赤提灯に「これが京都だ」と感じたり、子規に勧められ夏蜜柑を歩きながら食べたりしている。遊郭では、左右の店から招く手を避け、道の中央を通り抜けたそうだ。真面目で倫理的に潔癖だったという漱石を彷彿とさせる話である。その翌年、囑託教員として伊予尋常中学校へ赴任する。

◆教師を退いて、新聞社への就職を決めた明治四十年、二度目の京都への旅をする。「汽車は流星の疾(はや)きに、二百里の春を賣いて」と日記に書き、糺の森に近い知人宅を足掛かりに、底冷えする京都で十日余を過ごし、「見る所が多く、時間が足りない」と手紙に書く。寺社仏閣の多い京都は見学場所にと欠かず、「詩仙堂、真如堂、銀閣寺」などを回っている。《相国寺》に行ったことが『門』に反映され、『虞美人草』には嵐山散策や保津川下りをしたことが素材になり、櫂や棹を操って川を下る船頭を見事に描写している。冒頭、比叡山の登り道へばり、寝転びながら空を見る場面は、当日の漱石の実感かと思う。

◆二年後、満州韓国旅行の帰路に京都へ立ち寄る。旅行中は腹痛で悩み、京都では清遊が目的で、『嵐山・高雄榎尾』は、紅葉に少し早いため遊客も少なく存分に遊べたと、日記に記している。四度目は、大正に変わって四十九歳、続々と小説を発表して本を刊行している頃、次回の連載までを呑気に過ごしたくての旅行だったが、腹痛に悩まされ二十九日も京都に滞在した。黄檗山万福寺を訪れ、山門に掛かる「第一義」と大書きの額を懐かしむ。第一義とは、最も優れた道理のことで、これが『虞美人草』のキーワードになった。漱石が歩いた足跡を辿り、その作品を再読してみても面白いかと思う。(遊方子)

COLUMN..... 2  
京都の夏目漱石

トピックス..... 3  
「洋上大学に参加して」

JFだより..... 4  
沼島にてフォーラム開催  
JF改革運動の推進等にかかる行事について

おしらせ  
ズーム..... 5  
「活いか」で活いか??

インフォメーション..... 6  
平成15年度(第64期)  
全国漁業協同組合学校学生募集  
平成14年「老人の日・老人週間」キャンペーン

水試ノート..... 7  
こうして決める水産加工品の賞味期限

栽培漁業センターです..... 8

海区漁業調整委員会だより..... 9  
普及員だより  
「少年水産教室」

旬の美味しい話..... 10  
イワシのおやきハンバーグ  
JA「農」を体験、  
JAちゃぐりんフェスタを開催  
生協-2002年生協  
ヒロシマ・サガサキ行動に参加

拓水Promenade..... 11  
巻末エッセイ  
枕について考える  
掲示板  
お知らせ さわら資源回復計画実施中!

編集後記

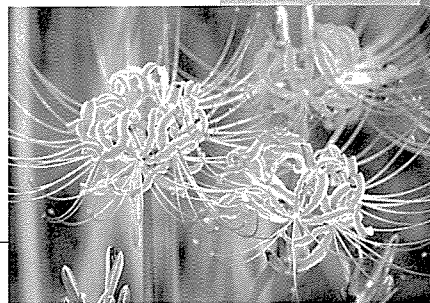
こちら海ですロケだより..... 12  
但馬浜坂の三尾という漁村...  
ご存知ですか? <美方郡浜坂町>

フォト歳時記

「彼岸花」

彼岸の頃、田んぼの畦道に咲く真っ赤な花の記憶。たとえ田舎暮らしの経験がなくともどこかで刷り込まれている、日本の原風景です。曼珠沙華(まんじゅしゃげ)という別名は、梵語(古代インド語=サンスクリット語)で「赤い花」「天井の花」を意味します。

極楽浄土に通じる名を載している一方で、「シビトバナ」やら「テグサレ」など不吉な名も頂戴しています。その地下茎にリコリンという有毒物質を含んでいるため、むやみに触れないようそんな名が付けられたのかもしれませんが。もっとも、水にさらせば毒抜きができます。デンプンを含むため、飢饉に備え食用として植えたようです。今でも農村で多く見られるのは、その名残りのなのでしょうね。



今月の表紙

「拓水」はJFとJFグループを結ぶ「コミュニケーションの場」です。報知したいこと、文芸など、みなさんの投稿を大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

# 「洋上大学に参加して」

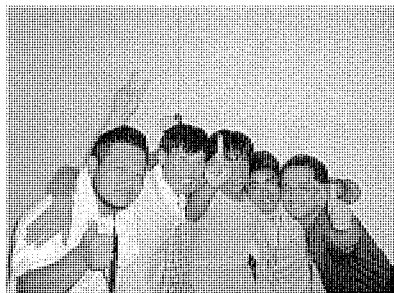
JF兵庫漁連電算課 西上 幸作



「未来に踏み出す第一歩！」交流・体験・感動の和」をキーワードに第二十三回近畿青年洋上大学は、平成十四年八月九日（金）、ぱ

しふいづくびーなす号にて、和歌山港から中国の大連港へむけ出港し、開学しました。この日から、八月二十日までの十二日間におよぶ洋上・訪問地研修が始まりました。

まずは、船内活動の一つである班別研修で、総合事前研修以来の八班との再会を喜びながら、上陸後の市内散策・中国人学生との交流について話し合いました。翌日から、「仏教美術」「視覚障害者の理解」「中国経済」「NPOの時代」と市民参画型社会」について講義を受け、また、アイマスクを装着し船内を歩行するなどの実技を通して、経済事情・これからの地域づくり・国際社会づくり・仲間づくりなどを学びました。こうして、三日間の船内活動は終了し、いよいよ大



連上陸となりました。一日目は、午前中に大連外国語学院を訪問し、意見交換が行われました。中国人学生は将来を見据え、目的意識をもって生活していると感じました。また、日本の若者文化（アイドル・流行歌・漫画など）へも大変興味をもっており、我々と共通している一面も見ることが出来ました。午後は、中国人学生一名・日本人学生三名の小グループに分かれ、大連市内を散策しました。市内はあらゆる場所で、新築や改築中のビルが多くみられ、観光地として開発されていました。二日目は、日露戦争の戦場である旅順を視察しました。夜は船内に中国人学生を招き、日中交歓会が行なわれました。

次の訪問地秦皇島では、万里の長城の最東端、老龍頭などの歴史的遺産を視察し、歴史の深みを感じました。そして天津では、古文化街を散策後、天津汽車工業という自動車工場を視察しました。この工場は、ダイハツの技術供与を受け「シャレード」などを生産していました。また、生産工程のほとんどが手作業であり、まだまだ発展の余地があると感じました。ホームステイ先である天津市西双塘村では、村民の熱烈な歓迎を受け、受入先である梅さん宅でも、親戚の方たちに大いに歓迎して頂きました。食べられないほどのご馳走と四十度のお酒…。梅さ



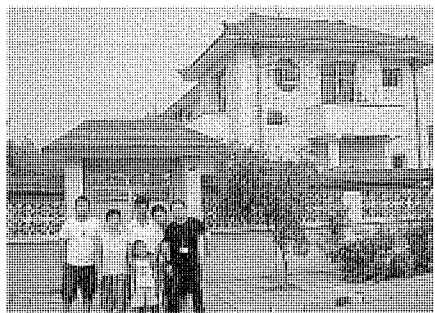
ん一族の男性陣と「乾杯・乾杯」（中国読み カンペー）と、お酒をイッキ飲みし、大いに盛り上がりました。幸いにも一緒にホームステイした班員が少々中国語を話せたので、コミュニケーションを図ることが出来ましたが、「少しでも中国語で会話できればなあ」「中国語勉強始めてみようかな」と、考えさせられました。このホームステイを通して、人をもてなす心・国民性を肌で感じる事ができ、中国人も日本人も何ら変わらない仲間なのだつくづく感じました。

翌日、梅さん一家との別れを惜しみつつ北京へ出発しました。一日目は、西太后が隠居所に選んだ中国最大の皇室庭園である頤和園を視察し、夕方に万里の長城の八達嶺を訪れました。長城の急勾配を登っている時は、歴史的遺産の壮大さを再認識した瞬間でした。この八達嶺は、夜になると長城がライトアップされ、とても幻想的でした。二日目は、五十万人の人が集まれる天安門広場を訪れ、その大きさに度肝をぬかれました。また、中国最大の古建築群であり、中国最後の皇帝・溥儀の居城である古宮（紫禁城）を視察し、ますます歴史の壮大さと深みを感じる事となりまりました。北京市内は二〇〇八年のオリンピックに向け、高層ビルや高層ビルが造られ、古い街並みの整備などが進んでいました。オリピックを控えた時期に視察できたことは、大

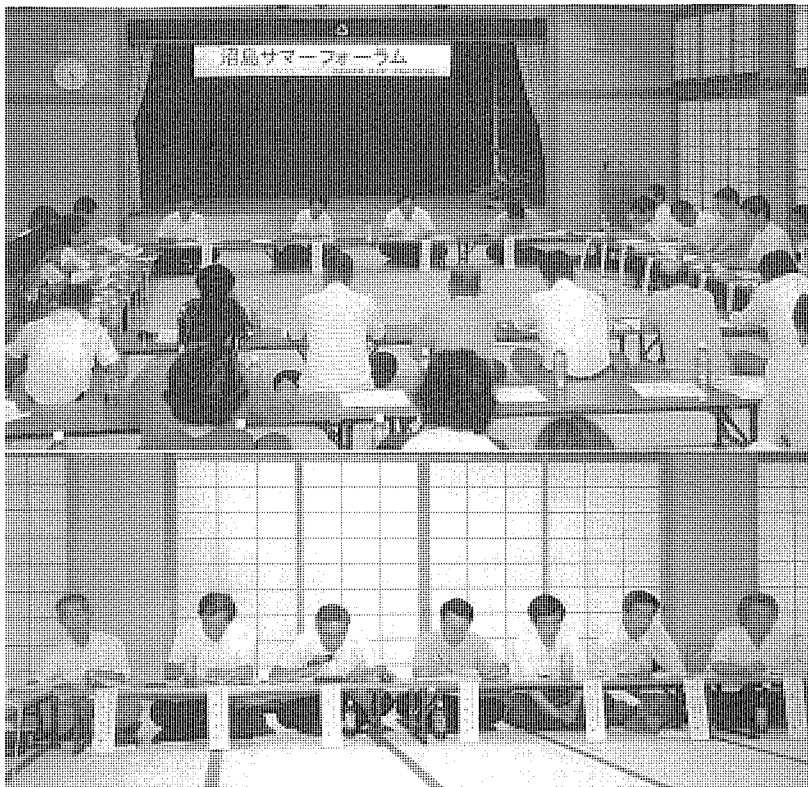
変貴重なことだと思いましたが、あっという間に中国での六日間も終了しました。この視察で感じたことは、中国の人たちは経済活動にとっても熱心だということです。大連外国語学院学長やホームステイ先の村長も、しきりに経済活動について話していました。中国は社会主義国ですが、現状はあたかも資本主義国のように感じました。

帰りの船内研修では、中国訪問の感想や研修結果発表会に向け、班で意見交換を行いました。これらを通して、班がひとつにまとまりました。大阪港へ帰港し下船の際には、再会を約束し、涙の別れとなりました。

十二日間の研修により、中国の人・文化・歴史に触れることができ、とても良い経験となりました。また、班活動を通して、グループをまとめることの難しさやチームワークの大切さを改めて学ぶことができました。生活と共にし、かけがえのない仲間を得ることができました。この近畿二府七県に及ぶ人と人のネットワークを自身の財産とし、これからも交流を続けていきたいと思えます。そして、学んだことを日々の生活に活かし、職場にも貢献できるように努力していきたいと思います。



# 沼島にてフォーラム開催



去る7月19日、沼島において淡路県民局、南淡町、沼島地区住民のフォーラムが開催されました。このフォーラムには、永田県議、森南淡町長、門淡路県民局長はじめ、県民局の参事以上の幹部大半が参加し非常に盛大な会になりました。このフォーラムはJFが地域の中核を

為し、地域の振興、活性化の牽引役にならなければならないとの考えのもと、淡路県民局地域振興部小西部長のご助力を頂き開催されました。

「沼島を、漁村を活性化するにはどうすれば良いのか」を中心に議論し、島民の思い、行政に対する要望等、非常に熱心に意見交換が行われました。

その結果、漁村の活性化は、都市部との情報の共有、コミュニケーション、さらには地元住民の意識改革が必要だとの考えが導き出されました。

又それらを実現する為に、沼島という小さな漁村から、何か些細なことでもいいから情報を発信し続けよう。そして、その情報発信の継続が

住民の意識改革を呼び、地域の活性化につながるんだ、という事を確認しました。水産基本法により漁村と都市部の交流の促進が施策として盛り込まれ、豊かで住みよい漁村づくりが進められる中、沼島の良さをアピールしていく為に、色々アイデアを出すのもJFの仕事の一部になるのではないかと考えております。

まずは環境面で何か情報を発信できないかと考えております。今回のフォーラムは、まさしく、沼島の情報発信の第1弾として、非常に爽りある会になったと思います。5年後、10年後に、振り返って見て、この会が節目になったなといわれる会であるよう努力して行きたいと思っております。

## JF改革運動の推進等にかかる行事について

11 / 22 (金)

「全国漁協代表者集会」(仮称)

—21世紀の漁業・漁村を切り拓く「JFグループ運動方針」の策定—

—ホテルニューオータニ幕張—

JFグループは、漁業と漁村の中核的担い手として、水産基本法の理念を実現する様々な役割の発揮を期待されています。このため、組合員の負託に応える事業機能を発揮し経営基盤の確立を図るJFグループの改革方向と具体策を明らかにし、21世紀初頭の運動方針を策定します。

11 / 22 (金) ~ 24 (日)

「JF全国おさかなまつり—日本の海の幸 浜の元気が大集合—」

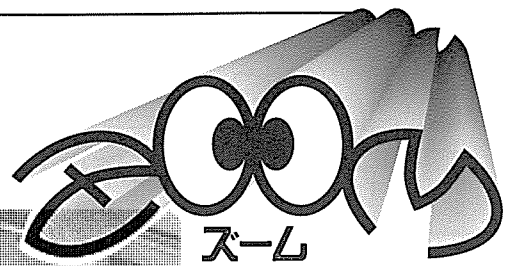
—JFグループと日本の魚(さかな)を国民・消費者にアピールする—

—幕張メッセ 1ホール—

消費者・国民に向けた新生「JFグループ」のPR、日本の魚を中心とした魚食普及の推進を目的とし、また水産基本法に唱われる食料供給や漁業・漁村の有する多目的機能について広くアピールします。

海の幸の販売、おさかなステージでの歌あり踊りありの賑やかなショー、海苔づくり体験、シーフード料理紹介、マグロの解体ショーやセリの再現など様々な活気あふれるイベント。兵庫県からはセコガニ、たこ天など出展予定。

「電気のみるさとじまん市」「国際放送機器店 (InterBEE)」も同時開催



スーーム

# 『活いか』で活せいかっ?!

(活性化)

“松葉がに”といえは、冬の味覚の王様というキャッチフレーズの下、山陰地方、とりわけ香住町にはこの金看板があり観光誘致の支柱となっていますが、夏季においては昔から“海水浴”というフレーズでしか誘客手段がなく、手をこまねいていたのが現状です。香住町観光協会が『活白いか(ケンサイイカ)』というものに白羽の矢を立て、JF柴山港(直売課)に協力を要請して始まったのがこのプロジェクトです。

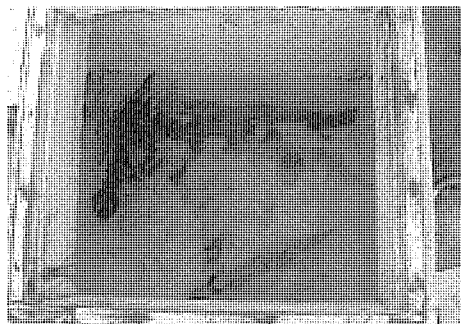


▲ 早晚、帰港した漁船より活白いかを丁寧に手際よく受け取る。たもを使わず籠を用いるのはいかの背骨を折らないようにするため。

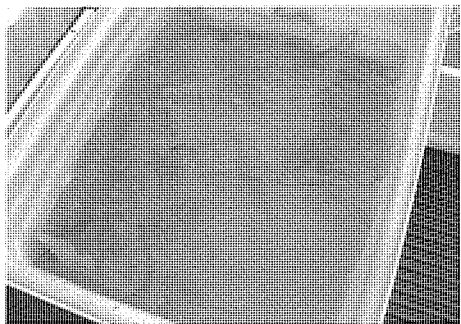


活いかに関しては、九州の呼子町や北海道の函館に後塵を拝している感はありませんが、それもその筈、非常にデリケートな生き物にして謎めいており、専用生簀(水槽)を構えるのに二の足を踏んでいたのが現状です。実は二年前の夏からJF

浜坂町の協力を仰ぎ、その日その日の注文匹数をリアルタイムで搬送、配達していましたが、それでは急な追加注文等に応じ切れず、参画する旅館・民宿の数も限られてしまうというところで、今年、地元香住町から助成して



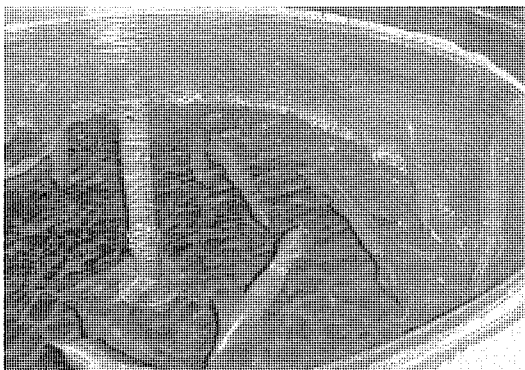
漁船の水槽に元気よく泳ぐ白いか



一旦、簡易水槽で。スミを吐かせないように慎重に。

いただき、JF柴山港かに一番館横の旧ボイラー室を一部改造し、専用生簀を設置し、今夏より本格稼働しました。いかの高付加価値、漁業者経営安定、地元観光客増というキーワードを意識し、まさに活白いかと格闘した02年夏でした。その甲斐あって注文匹数は昨年の三倍強と急増をみる事が出来ました。来夏以降もまだまだ試行錯誤は続くと思われませんが、香住町は『冬は松葉がに、夏は活白いか』を定着させるべく努力していきます。

ところで、いかにスミを吐かれ、真っ黒になった何着もの服のクリーニング代はいくらになるのだろうか?



水流をつけた専用生簀に移し、元気よく泳ぐ白いか



刺身姿

## 平成15年度(第64期)全国漁業協同組合学校学生募集

1. 募集人員 50人 (男女共学)

### 2. 入学資格

志操堅実、身体強健で、漁業協同組合系統団体の推薦を得た者が、次に掲げる各号のいずれかに該当し、本校の行う選考に合格した者。

- (1) 1ヵ年以上漁業に従事し、または漁業協同組合系統団体に勤務中の者。
- (2) 高等学校卒業者(平成15年3月末までに卒業見込者を含む)または、これらと同等以上の学力を有すると認められる者。

(注1) 漁業協同組合系統団体とは、漁業協同組合、同連合会、水産加工業協同組合、同連合会、信用漁業協同組合連合会、指導漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、漁業共済組合、同連合会および本校が特に認めた団体をいう。

(注2) 漁業協同組合系統団体は、面接により漁協系統職員としての適格性や将来の志望を考慮し、推薦を行うものとする。

### 3. 応募手続

#### (1) 提出書類

応募者は、次に掲げる書類を提出するものとする。

- ア. 入学願書(第1号様式)
- イ. 成績証明書(出身学校長の発行するもの、ただし高等学校出身者は調査書)
- ウ. 健康診断書(第2号様式)
- エ. 推薦書(第3号様式)

#### (2) 入学選考料 金額30,000円(郵便普通為替証書)

#### (3) 応募書類の提出期日および提出先

ア. 応募者は、提出書類(ア～エ)に入学選考料を添付し、応募者の出身地域の漁業協同組合連合会長宛(北海道は指導漁連会長宛)平成14年12月2日(月)より平成15年1月17日(金)までの期間に提出する。

イ. 各漁業協同組合連合会長は、入学願書等の提出書類について検討し、応募者の本校入学を適当と認められた場合は、応募者の提出書類に送り状(様式随意)を添付して、平成15年2月3日(月)までに本校に提出する。

### 4. 入学選考方法

#### (1) 選考は書類審査、学科試験および面接を行い、総合選考によって入学者を決定する。

- ア. 学科試験は、「小論文」とする。※現職者は学科試験を免除する。
- イ. 学科試験および面接は、各漁業協同組合連合会に委任して実施する。

#### (2) 学科試験、面接の日時および場所

- ア. 実施日時 平成15年2月14日(金)午前10時～
- イ. 実施場所 応募手続書類を提出した各漁業協同組合連合会

### 5. 入学許可発表 平成15年2月21日(金)

合格者には入学許可書および入学手続に必要な関係書類を送付する。

【問合せ先】 兵庫県漁業協同組合連合会 指導部漁政課 TEL 078-652-3444

平成十四年

## 「老人の日・老人週間」キャンペーン

— みんなで築こう 活力ある長寿社会 —

我が国では、誰もが健康で安心して生きがいを持つた生活を送ることのできる活力ある長寿社会を築くことが課題となっています。

このため、国においては、高齢社会対策基本法に基づく新たな「高齢社会対策大綱」を昨年十二月に策定し、政府が取り組むべき課題を横断的に設定して総合的な推進に努めています。

また、市町村・都道府県では、介護保険事業(支援)計画と老人保健福祉計画の見直し、介護予防・生活支援事業や高齢者の生きがいづくり、社会参加の取組などが進められています。

昨年六月には老人福祉法が改正され、今年から九月十五日を「老人の日」とし、同月二十一日までの一週間を「老人週間」とすることが定められました。

そこで、保健・福祉のまちづくり、高齢者の社会参加・ボランティア活動の促進等の五つの目標を掲げ、取り組むことを提唱いたします。

#### キャンペーンがめざす五つの目標

(1) 高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。

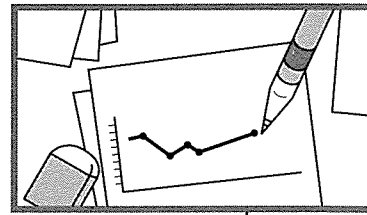
(2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。

(3) 高齢者の生きがい・健康づくりへの取組を進めよう。

(4) 介護問題をみんなで考えとともに、高齢者の人権を尊重し高齢者やその介護者を支える取組を積極的に進めよう。

(5) 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、お互いに協力して活力ある長寿社会をつくらう。

# 水試 NOTE



## こうして決める

# 水産加工品の賞味期限

拓水君 「平成八年以来久々登場の拓水君です！今何かと話題になることの多い食品表示ですが、今回は水産加工品の賞味期限について、その意味や決め方を兵庫県立農林水産技術総合センターの森主任研究員に聞いてみました。一口に賞味期限と言っても実際に市販されている加工品には賞味期限や消費期限、品質保持期限などいろいろな期限表示がされていますがどう違うんでしょうか？」

森主研 「一見似たような期限表示ですがそれぞれ微妙に違います。これら三種類の期限表示の違いを図一に示しました。これを見るとわかるように実は賞味期限と品質保持期限は同じ内容のもので、また、日持ちがしにくいもの、言い換えれば腐りやすいものには消費期限を表示し、比較的日持ちのするものには賞味期限（≡品質保持期限）を表示することになっています。そして消費期限が賞味期限（≡品質保持期限）かはおおむね五日を境目としています。さらに消費期限の場合は、「期限を過ぎると腐敗、変敗その他の食品等の劣化に伴う衛生上の危害が発生するおそれが出てくるため、販売は厳に謹んで下さい」と言うことになっています。」

拓水君 「三つの期限の違いが良くわかりました。では、これらの期限は誰がどうやって決めているんですか？」

森主研 「食品衛生法の施行規則によると、「期限の設定は製造又は加工を行う業者が、食品の特性等に応じて、微生物試験や理化学試験及び官能検査の結果等に基づき、科学的・合理的に行う」となっています。

す。これらは、水産加工品に限らず他の農林畜産食品についても共通したものです。といってもこれだけでは漠然としていてわかりにくいので、但馬水産技術センターで実際に行っている方法を紹介します。図二を見てください。

加工屋さん自身が科学的に期限設定ができない時、当センターに相談に来ることがあります。この場合、まず加工屋さんが持ち込んだ製品についての聞き取り調査、製品が傷むとどうなるか、何℃で流通して何日くらい持たせたいかなどを聞きます。

次に製品の分析試験をします。ここでは水分、塩分、pH、水分活性、生菌数測定などをして製品の保存性を推定します。分析試験の項目と保存性との間には図三に示したような関係があります。表一にいくつかの実例を示しました。」

拓水君 「ちよつと、ちよつと待ってください。」

森主研 「ん、説明の仕方が難しいのですが、簡単に言うと「水分」はその食品に含まれるすべての水の量を表しているのに対し、「水分活性」は水分のうち微生物

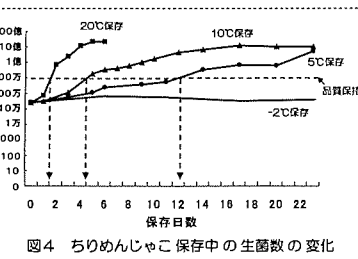
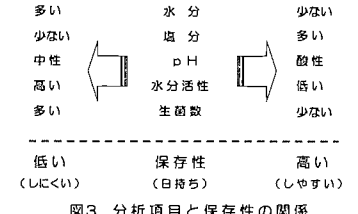
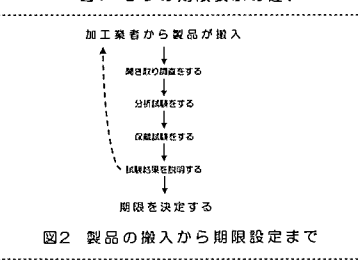
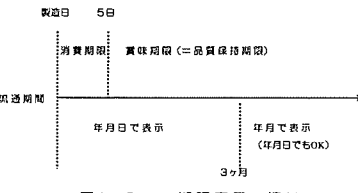
が利用できる水の割合が多いかどうかを湿度を測って表している」と理解しておいてください。」

拓水君 「はい、ちよつと難しいけど、保存性に大いに関係があることはわかりました。」

森主研 「分析試験が終わるといよいよ保蔵試験に移ります。ここでは加工屋さんの希望する流通温度に合わせた保蔵試験をして、品質保持の限界を調べます。品質保持の限界は、官能検査で臭い・色・食感を調べるとともに、これらを裏付ける科学的評価として生菌数、色度、硬さなどを測定して決めます。図四にちりめんじゃこの例を示しました。このちりめんじゃこの場合、生菌数を指標とした品質保持の限界は20℃で保存すると一・五日、10℃では四・五日、5℃では一・二日、マイナス2℃では二三日以上となります。そして保蔵試験が終わったら聞

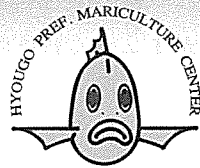
表1 主な水産加工品の分析値

分類	製品名	水分 (%)	塩分 (%)	pH	水分活性
魚で数日	ホイル包装のいか	80	1	6.8	0.99
干製品	一夜干しかれい	74	1	6.7	0.97
干製品	一夜干し鰯だぼ	73	2	6.8	0.96
調味加工品	かにがそ	85	2	6.7	0.96
焼魚	焼き鱈	59	1	6.3	0.95
焼で数日	かに刺身巻	81	1	8.3	0.94
干製品	ちりめんじゃこ	47	5	6.7	0.92
調味加工品	のり巻	67	5	6.3	0.91
干製品	ちりめんじゃこ	41	5	6.8	0.89
焼味加工品	魚醤油	79	13	4.5	0.87
焼味加工品	のり醤油	46	7	4.5	0.86
焼味加工品	いか巻（刺身）	27	2	5.9	0.75
干製品	干し海苔	5	2	6.1	0.28



# 栽培漁業センターです

168



今年の津名事業場でのクルマエビ  
種苗生産は、八月八日の配布をもつ  
て終了しました。配布種苗は配布先  
の各漁協、または当協会で中間育成  
後、放流することになっています。

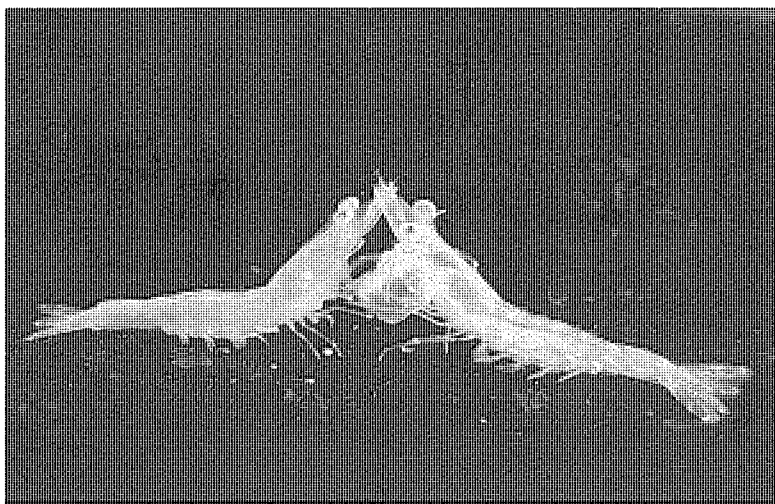
今年から、海上小割（網生け簀）  
によるクルマエビの中間育成がなくな  
りました。そして、それに代わっ  
て囲い網での中間育成が行われるよ  
うになっています。今までの海上小  
割では、歩留まりの低さと、放流時  
の食害による減耗が問題となってい  
たからです。

海上小割で歩留まりが低くなるの  
は、網の外側、特に底面からフグや  
カワハギ等に網越しに食べられるこ  
とと、着底生活期に、揺れ動く網生  
け簀で飼育されストレス過剰で弱る  
ことが原因だと考えられています。  
放流時の食害による減耗については、  
生け簀からの取り上げでショック状  
態となる上、砂に慣れないため速や  
かに潜砂しないことが原因だとわかっ  
ています。そこで、これらを解決す  
るべく、囲い網による中間育成に移  
行することとなりました。

囲い網は、高さ三メートル、直径  
十二メートル程の大きさで、稚エビ



囲い網（洲本市由良）



中間育成中のクルマエビ：配合飼料を食べている様子（全長約20ミリ）

が潜砂可能な砂質の浜辺に設置しま  
す。この中で中間育成すると、育成  
と同時に砂に馴致させられるため、  
と同時の砂に馴致させられるため、  
生残の基本条件の一つである潜砂能  
力を高めることができます。また、  
中間育成後の放流は、囲っている網  
を開放して行うため、日中は身を潜  
め、外敵が少なくなる夜に移動する  
彼らの習性をうまく利用することで  
その効果を高めることができます。

育成中の歩留まりと放流直後の生  
率向上の両面から、囲い網を用い  
る中間育成には、大いに期待が持た  
れています。さて、各事業場の状況です。二見で  
は、オニオコゼ、ガザミの種苗生産  
が終了しました。また、中間育成中  
のマコガレイは八月八日の配布をもつ  
て終了しました。大型種苗量産化試  
験のオニオコゼとメガイアワビは飼  
育を継続しています。但馬では、マ  
ダイの種苗生産が七月十七日の配布

で終了しました。そして、サザエを  
付着板で飼育、クロソイを小規模な  
がら試験生産しています。津名事業  
場では、クルマエビを中間育成して  
おり、八月十三日から順次配布する  
予定です。赤穂事業場では、津名事  
業場で生産したクルマエビを中間育  
成しており、八月七日から配布が始  
まりました。  
（ひょうご豊かな海づくり協会  
為後智康）



# 海区漁業調整委員会だより

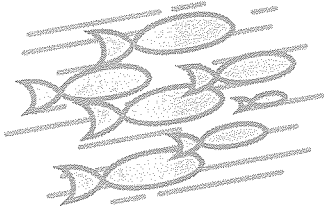
## 瀬戸内海区

七月二十九日  
瀬戸内海海区漁業調整  
委員会委員協議会  
(兵庫県中央労働センター)

一、漁場整備事業計画について  
漁場整備事業計画について水産課から説明があり、その後意見交換を行った。

二、全国海区漁業調整委員会連合会西日本ブロック会議提出議題について

十月に大阪府で開催が予定されている全国海区漁業調整委員会連合会西日本ブロック会議への提出議題について協議を行った。  
当海区からは「漁業調整委員会等交付金制度の堅持・予算の維持について」を提出することに決定した。



## 馬区但海区

七月二十四日  
但馬海区漁業調整委員  
会及び委員協議会  
(但馬水産事務所会議室)

一、小型機船底びき網漁業（手繰第一種漁業）の許認可取扱方針について（諮問）

知事から諮問があった当該方針について、「原案のとおり決定されて差し支えない」旨答申することを議決。方針の内容は、これまでと同じ。

二、べにずわいがにかご漁業の許認可取扱方針について（諮問）

知事から諮問があった当該方針について、「原案のとおり決定されて差し支えない」旨答申することを議決。方針の内容は、これまでと同じ。  
ただし、測量法及び水路業務法の改正に伴い、操業区域における経緯度を日本測地系から世界測地系に変換している。

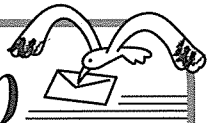
### 【委員協議会】

一、全漁調連日本海ブロック会議の提案議題について

本年三月に発生したアイガー号重油流出事故に関連して「流出油事故対策について」提案することとし、内容について協議。

二、その他

但馬水産技術センターの原田主任研究員から水産物の品質管理に関する調査結果について報告。内容は以下のとおり。①ズワイガニの水ガニと硬ガニの特性比較②沖合底びき網漁獲物の水冷と魚体温度変化。



## 普及員だより

### 「少年水産教室」

今回の普及員だよりは浜坂町三尾で行われた水産少年教室について紹介させていただきます。

三尾での水産少年教室は、始まって十年近くになりますが、地元三尾地区の小中学生を対象に開催されているもので、栽培漁業の勉強や魚釣り体験、自分で釣った魚のバーベキューなど楽しい催しもたくさんあり、子供たちも毎年この日を楽しみにしているそうです。今年八月四日（日）に小中学生約三十人の参加で行われました。

三尾は浜坂町の東の端にあり、国道からは少し離れ、周囲を海と山に囲まれた小さな集落ですが、小学校と保育園もあり、風光明媚で、綺麗な海、静かでのんびりとした時間、都会から来た人から見れば、まるで桃源郷のように感じる場所かもしれません。

さて、まずは十隻ほどの漁船に分乗して、マダイ稚魚を中間育成している仕切網に渡り、五匹づらいに成長したマダイ稚魚の見学と体験放流をしました。

三尾で行われているマダイの粗放的な中間育成は健苗育成のための先進的な試みとして有名になり、栽培漁業のヒトオにもなりました。当初は、漁港の入り口を網で塞ぎ、漁港全体を使って行っていたが、現在は漁港の中の一部を網で仕切っています。

しかし底のある小割網生け簀でなく、側網で仕切つてあるだけで、より自然に近い形で中間育

成ができるのがミソです。それが証拠にマダイに混ざって同じような大きさのグレの子もすくすくと育っていて、まさに生存競争と言ったところでしょうか。

次は、いよいよ魚釣り、実は子供達はこれを一番楽しみにしていて、私も子供三人乗せた船に同乗しましたが、船長のポイント選定が良いのか、それとも子供達の腕が良いのか、まさに入れ食い、大きなガシラやベラさらには小カバンチやアコウまで釣れ、船上は大騒ぎでした。

陸にあがると、今度はお母さん方が総出で釣って来た魚の下ごしらえ。

その間に男性陣は、小学校の運動場横、炭をおこし、バーベキューの準備です。

そして焼き上がった魚を、まずは、子供達が手分けして三尾のお年寄りの家々へ配達しました。

その後は、子供も大人も入り乱れて、バーベキューを囲んで、楽しいひとときを過ごしました。

ひとしきり飲んで食べた頃、ある世話人の方の提案で、子供チームと大人チームに分かれて、小学校の運動場でリレーをしようということになりました。

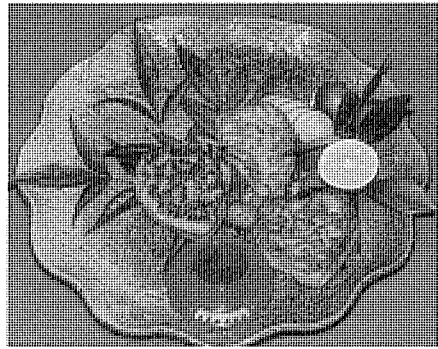
私も参加しましたが、海に張り付くように建った、全校生約二十人の小学校の運動場は、一周が五十m少しい、とても可愛いもので、うまく走るのはコツが必要です。

そして結果はもちろん、子供達の圧勝となりました。

しかし、子供達のはち切ればかりの笑顔と元気さにも力をもたらし、子供達以上に楽しそうな大人達を見て、小さくてもやっぱり学校があるのは良いなと心から思った夏の一日でした。

但馬普及員室 高木 英男

## イワシのおやきハンバーグ



### ◆材料 (4人分)

イワシすり身	200g	パセリ	1束
豆腐	2丁	調味料A	
玉ねぎ	2個	みそ	大さじ2
卵	1個	生姜の絞り汁	
牛乳	1本	小さじ2	
小麦粉	2カップ	しょう油	小さじ2

### ◆作り方

- ① イワシは腹開きにし、牛乳に3時間程つけておく。
- ② 水気を取りミキサーにかけ、すり身にする。
- ③ 豆腐を水きりしてつぶし、パセリ、にんにく、玉ねぎのみじん切りを混ぜる。
- ④ ポールに②と③を入れ、小麦粉、調味料Aを加えてよく混ぜ合わせる。
- ⑤ 適当な大きさにしてホットケーキを焼くように焼く。

## 兵庫JCC通信 今、JA・生協では

### JA

#### 「農」を体験、 JAちやぐりんフェスタを開催

県内JAでは、農業やJAとのふれあいを高めるため、毎年夏休み期間を中心に「JAちやぐりんフェスタ」を開催している。

本年も、各JAとも工夫を凝らした楽しい企画が盛りだくさんで、参加した児童や保護者に大変喜ばれた。

JA兵庫西・しそウ統括部では、七月二十七日に、ちやぐりんフェスタを開催した。「農」を通して「食」を考える子どもを育てよう」というテーマで、育てること・収穫すること・食べること・「いただきます」という感謝の言葉の持つ意義を体験してもらおうと計画、実施した。

女性会役員の指導で、子どもらは手を真っ黒にしながら、ラディッシュの種をまき、出来あがったプランターを持ち帰った。

この日参加した子どもたちは百十七人、お父さんやお母さんも約二十人が参加した。

参加したお母さんらも「農業は機械化が進み、子どもらが田んぼや畑に行くことがなくなり、家族みんなで畑に行くことがなくなり、生命の力強さなどを話し合います」と評価は高い。

兵庫西JA女性会しそウ地区、福岡敏子会長は、環境を守ることや自然を大切にすることをあいさつで訴え、お楽しみ品のビンゴゲームも、数字の代わりにトマトやナスなどの野菜を使って農をアピールした。

このフェスタで、夏休みの自由研究のヒントを得た子供も少なくない。

また、今後の食教育の大きな布石となったに違いない。



ラディッシュの種をまく子どもたち

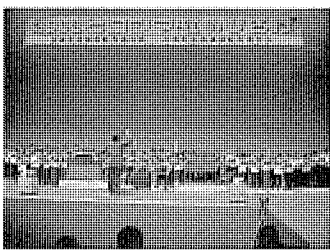
### 生協

#### 二〇〇二年生協 ヒロシマ・ナガサキ行動に参加

今年も、日本生協連が主催する「ヒロシマ・ナガサキ行動」に兵庫県内の生協も多数参加しました。「ヒロシマ虹のひろば」(八月五日)には、全国の生協から千三百人が、さらに「ナガサキ虹のひろば」(八月七日)には四百五十人が参加しました。兵庫県からは、広島に四十四名(コープこうべ十名、関西学院大学生協七名、神戸医療生協八名、阪神医療生協十一名、姫路医療生協四名、ろっこう医療生協三名、兵協連一名)が参加。長崎には三名(コープこうべ三名)が参加しました。

「ヒロシマ虹のひろば」では、市民募集した広島で始まり、日本生協連品川尚志専務理事による主催者挨拶のあと、広島市長秋葉忠利さんの挨拶と続きました。被爆の証言では外岡善光さんによる苦い被爆体験と、いまだに被爆手帳もたない被爆所とともに闘いつづけている現実を、そして、原爆投下後七十年は草木も生えないといわれた平和公園のオオギリの木を作詞・作曲した森光七彩ちゃん姉妹の幼い歌声は、参加者の胸に大きな感動を与えました。

また、ヒロシマ行動では、親子で参加するフィールドワークや子ども平和のつどい、施設訪問、ピースフォーラムなどを通して平和の尊さを学び、参加者からは、「戦争と核兵器のない平和な二十一世紀であるよう、かわいい子どもたち、孫たちが平和で楽しく暮らせるように、私たちが伝え続けなければなりません」と、「過去の歴史が現在へ続いて影響していること、だから今を大切に過ちのない時代をつくらなければならぬことを学びました。」など、とても「ぼくの理想の地球は、武器なんて使わない世界です。ちよっとしたケンカやイジメも話し合いで解決できる平和な世界にしたいです。」など、大人も子どもたちも、あらためて平和の大切さを考える機会となったようです。



「ヒロシマ虹のひろば」会場風景

巻末エッセイ

枕について考える

が彫られている。勾玉（まがたま）を飾るための穴を穿ってあり、死者の頭部に對し何らかの呪術的な役割があったように見受けられる。

◆動物の中で、枕をするのは人間だけのようにだが、人はいつ頃から枕をし始めたのか。おそらくは、自然発生的に生まれたものと考えられている。それは自分の腕であり、石または木や草を束ねたものであったろう。眠りを食する時、首を支える物が欲しいのは、極めて自然な欲求と思うのである。より良い生活のため、常に工夫を凝らす所に我らの《暮らしの知恵》が存在する。自然のものを加工したり、色々な素材のもので、頭を置くのに都合のいい形を考え出したと思うのである。

こうした石枕の発掘は百余の例があり、生きていた人たちが使っていたと推測されている。この《石枕》は重要文化財に指定された。古墳からは土器製や粘土製の枕も出土しているが、損保郡御津町の古墳から出土した木製のものは全体に朱が施されている。

◆マクラというのは、純粋な《やまとことば》だが、語源はよく判っていない。顔をナゼ《力オ》というのか不明なように、古い言葉は何故という問いに回答が得られないものが多い。諸説ある中でクラに《座》という意味が考えられているが、座（くら）は神様の降りられる所であり、畏れ多い説である。中国の文字を借りて《枕》と書き、昔ではチンまたシンと読む。木偏に作られているから、中国では《木枕》が用いられていたらしいが、旁（つくり）は人が頭を沈めている意味だという。頭部を沈めて安定させるため考え出されたものが枕だといえよう。

◆人生、三分の一は眠っているのである。安楽な眠りのため《枕》は大切なものの筈だが、案外と粗雑に扱われているように思う。頭寒足熱の状態にするには、頭を少し高くするのがいいから、枕は必須の用具といえる。根来（ねごろ）塗りの美しい枕を見たことがある。根来塗りは、赤漆と黒漆を塗り重ね、長く使ううちに剥け落ちて面白い味が出る。これを意識的に剥けさせた、美術品のような美しい枕だった。少し堅くて疲れるかなと思ったが、面白い夢が見られそうな気にもなった。

◆千葉県の古墳から出土の《石枕》は、研磨された滑石製で、黒光りした馬蹄型のものである。中央を深く抉って窪ませ、後頭部がすっぽり入る状態に磨き、陰刻で文様が彫られている。

◆ものを考える時、妙案の浮かぶのは馬上、枕上、廁上（しじょう）だという。馬上というのは、現代では通勤電車にあたるだろうが、廁上はトイレで《考える人》スタイルである。枕上は寝ている時だが、眠ってしまつては駄目で、眠りに入る少し前のこととなる。ノーベル賞学者の湯川秀樹博士は、台風でガタつく兩戸の音で寝付かれず、枕の位置を変えたりして、うつらうつらし始めた瞬間、あの《中間子論》の着想を得たといわれている。同じノーベル賞学者の

福井謙一博士も《フロンティア電子理論》を思いつかれたのが寝床の中だったとか。眠る前のひとときに「考えるヒント」が得られる。枕を疎かに扱ってはなるまい。

◆正月二日の夜。枕の下に、七福神の乗る宝船を描いた刷り物を敷いて寝る風習があった。それには「長き夜の遠の眠りの皆目覚め、波乗り船の音の良きかな」と書いてある。これは下から読んでも同じ《回文》という言葉遊びだが、これを敷いて眠ると舌夢が見られた。いつ始まった習慣なのか詳らかではないが、初期のものは船も小さく、宝の数も少ないが、江戸中期には七福神を加えて、賑やかな絵柄に変わった。「お宝、お宝え」と威勢のいい声が、往來を飛び交ったというが、静かな時代の夢のある風習であった。

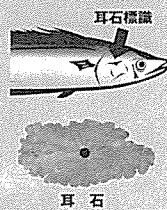
福井謙一博士も《フロンティア電子理論》を思いつかれたのが寝床の中だったとか。眠る前のひとときに「考えるヒント」が得られる。枕を疎かに扱ってはなるまい。

さわら資源回復計画実施中!

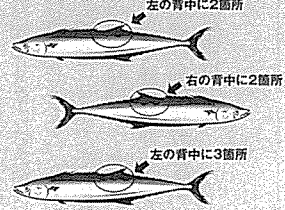
国が推進するさわら資源回復計画に基づき、瀬戸内海の各府県ではさわらの資源を回復させるために様々な取り組みが行われています。その取り組みの一つとして今年には岡山県、広島県、香川県及び愛媛県の各地先において約20万尾のさわら種苗が放流されました。

放流魚追跡調査にご協力を!

1 さわらのサンプルの入手協力をお願いします。すべての放流魚に耳石標識がしてあります。



2 焼印標識魚の再捕報告をお願いします。岡山県、広島県及び愛媛県の放流魚には焼印標識がしてあります。



問い合わせ先・報告先  
水産庁瀬戸内海漁業調整事務所  
Tel 078-392-2282

編集後記

世の中ではいろいろな事件が起きておりますが、我が家でも大事件(?)発生!!  
大・大・大嫌いなゴキブリ出現!!  
場所は台所。第一発見者は、右手にスポンジ、左手にお皿持ったまま叫んで逃げました。  
黒光りしたすばやい物体はガスコンロの中へ。しとめるまで今夜は眠れない〜。外でコンロを分解し、(私、部屋で待機)  
長いバトルの末...  
ホイホイ、ホウ酸団子、コンバット、あらゆる手段により、本日現在、出会っておりません。  
3億年も前から存在する彼ら。もうそれだけ生きたら十分でしょう...

# このテレビの こちら 海です



出荷準備



ブランド化した三尾一本釣りの魚アコウ釣りに出た中村勲さんとレポーター



“ふれぬい水産” 輪童 釣果パッチリ

【2002年 8月25日放送  
第1300回】

## 口々たより

但馬浜坂の三尾という漁村…ご存知ですか？ 〈美方郡浜坂町より〉

今回は美方郡浜坂町の一番東の漁村、「三尾」という半農半漁の小さな集落を訪ねました。平家落人伝説が伝わり昭和二十六年にトンネルが開通するまでは船が唯一の交通手段で、陸の孤島と云われたところです。初めて訪ねたのは昭和五十七年五月、その年の九月に開通した現在のトンネルもまだ工事中の時でした。旧三尾トンネルを抜けると目の前に開けた日本海は「峰より高し」を実感したのを覚えています。坂を下ってすぐに出会うのが戸数十八の小三尾。そして奥が戸数五十七の大三尾です。

今回の取材目的は、①全国に先駆けて平成九年から取り組んでいる「マダイの粗放的中間育成」②三尾漁港で一本釣りされる魚のブランド化、③子供たちの夏休み恒例となった「水産教室」です。

天然の海域を利用した「マダイの粗放的中間育成」は、但馬栽培漁業センターのマダイの種苗が五十万匹生産可能になり、餌や管理費のコストダウンと、自然に近い中間育成の方法が検討されたのを受けてのことでした。その中で浮かんだのが自然の湾を仕切り、利用すると云う方法でした。但馬各地の中から白羽の矢がたったのが三尾。漁師さんをはじめとする皆さんの合意を得て、平成九年、四十五万匹のマダイの稚魚が湾に放たれました。今までの海上小割網イキスでは、野性的なマダイが出来ない…コストが高くて、これらの諸問題を解消するため日本栽培漁業協会と但馬水産事務所等が協同

で調査することになったのです。一年目、二十ミルサイズで直接湾内に放すとカサゴやアジ等天然の捕食魚の餌の的となり、歩留まりは約二十％と推察され、保護が課題となりました。そこで二年目に採用したのが、湾の中で海底まで網で囲む囲い網方式でした。底面積四百㎡。この方式は、野生化・歩留まり・経費節減に大きな成果をみましました。しかし育成面積の拡大が課題として残り、三年目は竹野町と分散し、ほぼ安定した成果が得られました。湾で稚魚を飼うという画期的な行為は、これからの中間育成の在り方を問うと同時に、海に対する意識も大きく変えました。海にはヒニール一つ、空き缶一つ落ちてはいけません。

そして二つめに、仲買人の「浜坂のマダイにはいい値が付かない」の一言に、釣った魚は船の上での活けシメを徹底、釣り人の名前と電話番号を入れたステッカーを沿えてブランド化。それが他の地域にもいい影響を与えはじめました。

三つめの水産教室は、平成七年からの恒例行事です。海の楽しさを知り、一人でも漁業後継者が増えればという思いからでした。魚を釣るのは子供たち、料理をするのはお母さんたち、焼き係はお父さんたち、それをお年寄りの居る家庭に子供たちが配るといいうり組み。今年は五十七軒の家に配りました。三尾は子供から大人全員の縦社会、地域社会の構成が残っており、人情豊かな漁村です。

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
〒652-3445 神戸市兵庫区中之島2-2-1

0844

TEL 652-3445 定価80円 (本体66円)  
FAX 671-6685

2002年 9月10日発行 通巻551号  
昭和32年10月28日 第3種郵便物認可

JF